

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京シティ・バレエ団
公演団体名	東京シティ・バレエ団

内容

音楽に合わせて身体を動かす事の心地よさや、バレエのはじまり、衣裳の歴史、バレエの基本動作を体験することで、様々な角度からバレエ芸術および本公演への期待を膨らませることがねらいです。

同行スタッフおよび解説者は常時マスク着用、ダンサーは質問コーナーのみマスクを着用いたします。

派遣者は検温及び健康観察を行い、異常がないことを確認してから実施校に向かいます。

◆第1部（約45分間）

●床運動【参加】

ダンサーを見ながら、ストレッチを行います。

●クラシックバレエのレッスン【見学・参加】

通常バレエ団で行っているレッスンの一部を見学します。（解説付き）

また、バレエの基本動作も体験して頂きます。

●マイム【参加】

バレエは、言葉のない「芝居」です。言葉でなく身体で自分の気持ちを表現する方法の一つにバレエ特有のマイムがありますが、この動きに感情をのせ、相手に自分の思いを伝える事を体験してもらいます。マイムは、本公演にて数名に実演していただきます。

◆第2部（約45分間）

●「コッペリア」のバレエについてのお話し～「コッペリア」に出てくる踊りを見ながら～【見学】

解説を交えながら「コッペリア」に出てくる3曲の踊りをご覧いただきます。

●「コッペリア」コーダ（終幕の踊り）の曲にあわせて…【参加】

簡単なステップを指導し、全員で踊ります。

●質問コーナー

みなさんからのバレエについての質問にダンサーが直接答えます。

タイムスケジュール（標準）

開始 30分前学校着～準備～WS実施～着替・撤収（30分）

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
解説・指導：1名 実演・指導：3名 スタッフ：2名
学校における事前指導
バレエに関する質問を考えておいてください。 ワークショップ当日は、体操着を着用してください。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京シティ・バレエ団
公演団体名	東京シティ・バレエ団

演目
第1部 「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」 第2部 「コッペリア」より〈コッペリウスの仕事部屋〉 第3部 「コッペリア」より〈鐘の祭り〉 公演時間 (110 分 休憩 10分×2回含む)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者：27名 スタッフ：20名（感染症拡大防止として舞台スタッフを2名増員） 合計：47名 派遣者は検温及び健康観察を行い、異常がないことを確認してから実施校に向かいます。

タイムスケジュール（標準）									
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	8:30 到着／搬入・舞台設営		11:00 リハーサル	12:00 学校リハーサル	13:15 開場	13:30 開演		15:30 終演/撤去	17:00 退館

実施校への協力依頼人員

ワークショップで学んだ事と、実際の舞台を体験する機会として以下のシーンで共演をお願いします。

・第1部マイム実演：ワークショップ参加児童生徒の中から男女各3名程度

ダンサーと一緒に舞台上でマイムを行います。

ダンサーはマスクまたはマウスシールドを着用致します。

・第3部：市長役（先生）1名、市長夫人（先生）1名、花をまく子ども 2名

ダンサーは、発声はないため、マスクは着用しておりません。

共演の方のマスク着用については実施校の判断にお任せ致します。

弊団で用意する衣裳を着用していただきます。衣裳は使用前後にエタノール消毒液で除菌しますが、1着を各実施校の共演者が着用するため、感染防止対策により着用の可否については実施校の判断にお任せします。

演目解説

「バレエ」という様式は、世界共通のものであり、ヨーロッパ、アメリカ、南米、アフリカ、アジア各国において広く文化として根付いているものです。

第1部「バレエってなあに？～バレエを楽しもう！～」では、そのバレエの歴史やバレエ用語、マイムを、ワークショップで基本動作を体験した皆さんにはより深く理解できるよう、また、初めてバレエに接する皆さんには、どの学年の方にも解りやすい解説と共に、クラシックバレエのレッスン風景を見学して頂きます。そして、ワークショップに参加して頂いた皆さんの中から数名に、体験して頂いたマイムをバレエダンサーと一緒に披露して頂きます。

第2部は「 Coppélia 」から第2幕「 Coppélius の仕事部屋」、第3部は「 Coppélia 」第3幕「鐘の祭り」をご鑑賞いただきます。

この作品は、世界中のバレエファンに愛される古典作品の一つです。青年フランツが窓辺で見かけた美しい少女に心を奪われた事を知った恋人のスワニルダが、やきもちを焼いて、少女の家に忍び込みます。すると、その美少女は、Coppélius という人形作りの老人が作った人形Coppélia でした。てんやわんやの騒ぎの末に、フランツとスワニルダは仲直りをして、めでたく結婚する、という物語です。実際の作品を鑑賞しながら、第1部で体験したバレエの要素が作品の中でどのように活かされ、踊りやマイムになり、ダンサーたちが何を表現しているかを感じて頂くことを目的とします。色とりどりの衣裳で踊る第3幕は、まさに華やかな夢の世界。踊りにつぐ踊りで、バレエの醍醐味を味わっていただけます。

「Coppélia」は、当団では初演以来 200 回以上も上演している人気の高い演目で、全国の子どもたちを対象とした公演でも好評を頂いております。バレエに言葉はありませんが、客席の子どもたちは、ダンサーのしなやかな動きと、身体からまるでせりふが聞こえてきそうな表現力で、非日常的な世界であるバレエの舞台にどンドン惹き込まれていきます。言葉を超えて表現される感情は、子ども達の心に響き、感性の世界へと導きます。この「Coppélia」体験をとおして、バレエに身近に触れる事により、バレエの魅力的な世界への扉に導く事を目指します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

バレエは美しい音楽に合わせて言葉を使わずに踊りで表現しますが、「私」「あなた」「美しい」など、「マイム」というバレエ独特の動きも用いて物語をお客様に伝えます。バレエの歴史や上演する「 Coppélia 」に出てくるマイムのなど、わかりやすい解説とともに鑑賞して頂きます。

解説者は常時マスクまたはマウスシールドを着用します。

第 1 部では、ワークショップでマイムを学んだ皆さんに舞台上で実演してもらい、身体表現を体験して頂きます。そして、第 3 部の幕開き部分では、市長・市長夫人・花をまく子どもとして、先生、児童生徒の皆さん数名に出演してもらい、ダンサーと一緒に舞台を盛り上げて頂きます。

また、バレエは、音楽・衣裳・照明・大道具（美術）が揃う「総合芸術」です。一つの作品を創り上げるためには、多くの力と技術が必要となり、舞台の裏では多くのスタッフが働いています。体育館をステージへと変化させていく過程や、普段の舞台では緞帳の中で行われている舞台転換作業を休憩時間に見る事で、普段知る事の出来ない「総合芸術」の構造を知る事が出来ます。

児童生徒とのふれあい

感染状況の改善により、大道具の搬入や作品で使用する簡単な道具の組み立て、衣裳のアイロンがけ等、本公演が始まる前の過程の見学や体験を希望される場合は、可能な限り対応致します。

本公演の第 1 部・第 3 部に出演して頂く児童生徒の方には、当日の開場前に体育館にお越し頂き、それぞれの担当者が指導致します。短い時間ではありますが、緊張せずに楽しい時間を過ごせるよう心掛けております。

リハーサル時は、指導者およびダンサーはマスクを着用しますが、本番は共演部分以外はマスクは着用せずに実施致します。

舞台から児童生徒が鑑賞する場所との距離を最低でも 2.5mは取れるように設営いたします。（体育館の広さと鑑賞人数により距離は前後致します）